

# 愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2024年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	専門演習 II		
担当者(Instructors)	Tran ThiTuyetNhung	配当年次(Dividend year)	3
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

<b>■ 授業の目的と概要 (Course purpose/outline)</b>			
専門演習 II では、専門演習 I で設定した研究テーマに対してデータ収集、分析、及び考察を行う。研究スキルを身に付け、論文の作成及び発表を行う。3年後期末に「8,000文字」の論文を執筆し、4年は「16,000～30,000文字」の卒業論文を目指す。			

<b>■ 授業形態・授業の方法 (Class form)</b>	
授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	演習 ディスカッション、発表

<b>■ 各回のテーマとその内容 (Each theme and its contents)</b>			
回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーション	演習の概要 演習の進め方	<input type="checkbox"/>
第2回	研究テーマの再検討	専門演習 I の振り返り 研究テーマの再検討 リサーチクエスト、仮説の再検討 検証方法の再検討	<input type="checkbox"/>
第3回	証拠・データの収集 (1)	データの収集方法を検討する。 データを収集する。	<input type="checkbox"/>
第4回	証拠・データの収集 (2)	データの収集方法を検討する。 データを収集する。	<input type="checkbox"/>
第5回	データの分析 (1)	データ分析の手法を検討する。 データ分析を行う。	<input type="checkbox"/>
第6回	データの分析 (2)	データ分析の手法を検討する。 データ分析を行う。	<input type="checkbox"/>
第7回	分析結果の考察 (1)	分析結果を考察する。 分析結果から結論を引き出す。	<input type="checkbox"/>
第8回	分析結果の考察 (2)	分析結果を考察する。 分析結果から結論を引き出す。	<input type="checkbox"/>
第9回	論文の作成 (1)	データ収集・分析・考察を行う。 論点及び理論のフレームワークを検討する。 論文を執筆する。	<input type="checkbox"/>
第10回	論文の作成 (2)	データ収集・分析・考察を行う。 論点及び理論のフレームワークを検討する。 論文を執筆する。	<input type="checkbox"/>
第11回	論文の作成 (3)	データ収集・分析・考察を行う。 論点及び理論のフレームワークを検討する。 論文を執筆する。	<input type="checkbox"/>
第12回	論文の作成 (4)	データ収集・分析・考察を行う。 論点及び理論のフレームワークを検討する。 論文を執筆する。	<input type="checkbox"/>
第13回	論文の中間発表 (1)	プレゼンテーションの資料を作成する。 研究発表を行う。 質疑応答	<input type="checkbox"/>

第14回	論文の中間発表（2）	プレゼンテーションの資料を作成する。 研究発表を行う。 質疑応答	<input type="checkbox"/>
第15回	まとめ	演習のまとめ	<input type="checkbox"/>

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

企業や業界や経営課題などについて関心のあるテーマを調べておく。必要な論文・資料の収集、読み込み、整理などをする。（予習の2時間）  
ゼミで提示された内容や収集した論文・資料の振り返りを行う。研究発表資料の作成を準備する。（復習の2時間）

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

演習において研究方法、論文作成、研究発表等について適宜指導・助言を行う。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
思考力・判断力・表現力	◆ 2021地域ビジネスDP2	資料収集やデータ分析方法が理解できる。
主体性	◇ 2021地域ビジネスDP3	研究発表を積極的に行う。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			60%	40%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

研究成果（論文、データ収集）：60%  
研究発表・質疑応答：40%

■テキスト(Textbooks)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	無し	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	演習で適宜紹介する。	
2		
3		
4		
5		